

鹿児島大学歯学部とエアランガ大学歯学部との国際交流②

山崎 要一

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 健康科学専攻 発生発達成育学講座
小児歯科学分野

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の口腔先端科学教育研究センター平成24年度歯系大学院生研究助成事業として、2012年12月15日（土）に第5回歯系大学院生研究発表会が鶴陵会館で開催されました。

「この発表会でエアランガ大学の先生の特別講演を企画できないか？」との意見が飛び出したのは、発表会からさかのぼること7か月（同年5月）の口腔先端科学教育研究センター運営会議のことでした。ちょうどその日に開催された歯学部教授会でインドネシア・エアランガ大学との学術交流が議題にのぼり、協定調印に向けての大きなスケジュールが示されたところでした。

今回の発表会は、5年間の期限付きで口腔先端科学教育研究センターへの科学研究費が支給される最終年に当り、これを使用すれば先方の旅費や謝礼も手当てできるため、これまでとは異なった最後に相応しい企画となること、また、11月にエアランガ大学（インドネシア・スラバヤ市）で協定締結予定のため、12月の歯系大学院生発表会時に鹿児島大学の先生方に相手校のお披露目ができれば、ちょうど良い時期ではないかとことで、運営会議はたいへん盛り上がり意見がまとまりました。

しかしながら、この時点ではこの企画が後にいくつもの壁を越えなければ実現できないことなど、誰も気付いていませんでした。

ここで、今回経験した問題点を思いつくまに列挙します。

問題点1

鹿児島大学は他大学に比べて海外との交流実績が少なく、教員ならびに事務職員が海外からの公費による講師招聘の手順や手続き、必要書類の準備に慣れていないため、たまたま事案を担当することになった場

合、各担当者は手続きや相手方と交渉を手探りで進めるとともに、関係者が一同に集まって、問題点の把握と今後の行動計画について、定期的に調整する機会が必要である。

問題点2

鹿児島大学には本部に国際交流課があるが、残念ながら実施までの進行過程のノウハウを持ち合わせておらず、今回のように各部署で国際交流事業を計画しても、適切で具体的な助言はほとんど得られない。このため、英語版の招聘状の参考例や、招聘に関係する英語版の事務書類について支援が得られず、医歯学総合研究科でたまたま事務を担当することになった大学院係と経理系の職員ならびに教員が、個人の業務として、手作業ですべての書類を準備しなければならない。

問題点3

公費で海外から講演者を招聘する場合、相手方には日本国内とまったく同じ事務処理方法が求められるが、各国の事務処理の事情はそれぞれの国で大きく異なるため、鹿児島大学式の事務手続きについて、英語や現地語を使ってどのように説明しても文化の違いの溝が大きく理解して頂けない場合がある。

問題点4

招聘研究者と対面していない段階で、後日の振込みのために、先方に個人の銀行口座番号まで尋ねるのは、招聘する前の段階から気まずい状況を作ることになり、これでは友好的な国際交流が促進されるとは到底考えられない。

問題点5

講演当日に現金で旅費を支給する制度もあるが、こ

れは旅費を見積もった日の外国為替相場の対円比率から計算して仮の金額を算定するため、講演当日には為替相場が変動している可能性が高く、相手方が現地通貨で航空券を購入していた場合は、講演当日が計算日より円安に動いていれば、先方には為替差損が生じる。この場合は実際の経費より日本円の支給金額が少なくて済むため、鹿児島大学にとっては問題が生じない。

しかし、逆に円高に動いていれば、先方には為替差益が生じ、実際の経費より日本円の支給金額が大きく計算されてしまうことになるため、鹿児島大学はより多額の旅費を支給することになる。この差額の損金は鹿児島大学に回収する義務が生じ、先方が帰国後に相手方に5,000円程度の振込み経費を負担して頂き、数百円から数万円の過払い金を回収する必要がある。

しかし、その英語版の説明書や契約書もなく、だれが責任をもってそのことを招聘者に説明するのか、また、相手方が返金を実施しなかった場合の過払い金を回収は、誰がどのようにするのか、明確な規則や申し合わせもなく、実質的にこの制度は使用できない。

問題点6

現実的には、講演当日に旅費と謝金を現金支給することが最も簡単な事務処理で済むので、これを実施しようとする場合、招聘を担当した教員が最終的な不足金額の補填を個人で弁償することを誓約しなければ、事務担当者としても動けない。

各分野内での単独の講演会ならともかく、今回のような分野共通の公共的なイベントを担当した教員は、相手方との慣れない交渉を続け、やっと合意に至って講演会を実施する準備を整えた上に、為替差損金の自己負担を誓約して、不足金額が生じた場合は個人の給与から大学側に為替差額を弁償しなければ招聘計画が進められない。

などの障壁がありました。

外国からの招聘者にとっては非常に複雑な本学の事務手続きの簡略化や、教員個人の為替差損負担の免除などの制度設計について、適切な対応策を設け、このような企画の遂行に専門性を持つ事務担当コーディネータを養成しなければ、鹿児島大学における活発な国際交流は永遠に進まないのではないかと感じました。

その他にも、インドネシア側との連絡が思うように

進まず、こちらが必要とする情報が招聘手続きの期限を過ぎても入手されない上に、当初の講演内容や演題あるいは行動予定や日程について、事務処理の期限が迫る中でたびたび変更を要請されました。また、インターネット環境が日本とは大きく異なっているためか、メールが途中で途切れたり、あるいは送受信自体がなされず、適切な意思疎通ができない事態が生じました。さらには、相手方からようやく頂いた連絡内容についても、こちらの求めている情報とかがみ合わない場合が多数生じました。

このような膠着状態が続き、発表会1か月前の11月初旬まで、本当にエアラング大学の先生方を招聘できるのか、関係者は不安な日々を過ごすことになりました。

しかしながら、以上のような状況の中でも、関係する複数の事務官や委員会メンバー、歯学部長、インドネシアの歯科関係者と交流の深い中村教授と頻繁に協議を重ね、推測の下に計画を進めることになり、これらの方々との間で準備のために送受信したメール総数は50通以上にのぼりました。

今回の第5回歯系大学院生研究発表会で、エアラング大学のCoen Pramono 歯学部長の特別講演が実施できた背景には、実際にインドネシア語で、エアラング大学側と招聘交渉を担当された中村教授、講演記念品として歯学部国際交流用感謝楯の初めての作製に尽力された宮脇教授、来鹿されたエアラング大学の先生方の歓迎会を主催された島田歯学部長と杉原教授、小生が招聘業務に専念できるように第5回歯系大学院生研究発表会の準備と当日運営の指揮、ならびに5年間の研究発表会の記録集作製の実務を担当した小児歯科学分野の稲田助教と武元助教、歯学部学生や研修医の全員に手分けして発表会の案内ビラを配付し、参加を呼びかけて下さった口腔先端科学教育研究センターの教授委員の先生方、英文招聘状の参考例をご提供頂き、300枚以上の案内ビラを準備して下さった医歯研大学院系の野村さん、そしてもっとも貢献された方として、今回の事務処理のロードマップを作成し、20種類近い必要書類をエアラング大学用にカスタマイズして英訳するとともに、講演会前日にエアラング大学の先生方に必要事項を記載して頂くために、自ら書類内容を説明して、鹿児島大学の事務官として困難な業務を完璧に遂行された医歯研経理係の山之内さんと林さんのご活躍があったことを記録として残すとともに、こ

の場をお借りして関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、もう一人の特別講演者として、東北大学大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野教授の福本 敏 先生には、「歯の形態形成メカニズムの解明と再生医療への応用」の演題で講演頂き、乳歯歯髄細胞由来の幹細胞の解析研究を応用した歯と唾液腺、そして通常は考えられない粘膜上での毛根分化による毛の再生など、現時点では世界で最も進んだ知見を歯科分野から発信できることを示して頂きました。

なお、福本先生は、前日に新潟大学で JADR 特別講演を終えて、鹿児島まで移動して下さり、鹿児島大学の歯系大学院生と研究者のために、たいへんお忙しい中、無理をして駆けつけて下さったことも、この場をお借りして記録として残しておきたいと思います。

以下に、2012年8月31日に開催された事務官の皆様との準備会議で話し合われたロードマップを転載します。

以下の記事は、今後、歯系分野内で、海外から公費を使って研究者を招聘するときの参考事例としてお読み頂ければ幸いです。

—— 2012年8月31日の打合せ内容について ——

【 旅行日程について 】

- ・旅行日程については中村先生からお二人に確認を取っていただく。
- ・招聘状の作成については山崎先生に行っていた。
- （書類の送付方法等については、山崎先生と大学院係でご相談ください。）
- ・旅行依頼書の作成については大学院係で対応する。

※旅行依頼書にご本人のサインが必要な欄があるため、この欄については来日時に山崎先生または中村先生に立ち合っていたいただいたうえでサインしていただきます。

【 お支払い方法について 】

- ・現金でお支払いする。
- ・講演は土曜日だが、金曜日に山崎先生または中村先生に現金（交通費・日当・宿泊費・謝金を含む）をお渡しする。土曜日に講演が行われたことを確

認した上で、ご本人にお渡しいただく。（下記に添付）

※経理係から直接ご本人に現金をお渡しできないため、委任状の作成が必要です。委任状には来日時にご本人にサインしていただく欄があります。

※経理係から山崎先生または中村先生へ、山崎先生または中村先生からご本人へ現金を渡したという形跡を残すため、授受簿を作成する必要があります。

※先生方から現金をご本人に渡していただく際に、ご本人に領収証書にサインしていただく必要があります。

委任状は参考までにメールに添付していますが、授受簿、領収証書については経理係にて作成の上、実際に現金を先生方に預けるときにお渡しします。

注意事項

事務処理の規則により、現金支給の場合、来日前のレートと帰国後のレートをを用いて、二度旅費の計算を行う必要があります。そのため、為替相場の影響を受けて、航空賃の一部の返金をお願いする可能性があります。

また、予定よりも早く帰国された場合など、旅行日程に変更が生じた場合も返金の対象となりますのでご注意ください。

- ・所得税がかからないように、租税条約の手続きを行う予定。

※所定の書類のほかに、パスポートの写し（顔写真のあるページと日本への入国日が分かるページ）が必要です。

【 謝金について 】

- ・QOLの財源からのお支払い（一名）と、1口外・2口外の財源からのお支払い（一名）。
- ・講演に関するパンフレット（講演者名と講演時間、指導者名と指導時間等が明記された書類）を11月中旬をめどに経理係へ提出してください。

※パンフレットを作成する予定がない場合は、謝金担当の山之内までご相談ください。

注意事項

謝金は、全体的な拘束時間ではなく、ご本人の講演時間分のみしか支給できませんのでご注意ください。

お二人とも、一般講演（〇〇円/時間）または指導助言（△△円/時間）の単価で謝金をお支払いする予定だろうと認識しておりますが、もし特別講演（◇◇円/回）を希望されている場合は支給可能かどうか検討が必要になりますので、早めに山之内までご相談ください。

【旅費の計算に必要なものについて

（事前に揃えていただく書類）

- ・旅行依頼書（大学院係にて作成予定）
- ・航空券の領収書の写し

※最終的には原本が必要ですが、最初の計算の段階ではPDFなどの写しで対応可能です。

※ご家族のものを含まないお一人分の金額で作成してもらってください。

- ・金額の内訳（空港税や発券手数料など）が明記されている書類

※海外の場合、日本のように内訳書を作成してもらえないことがあるため、その場合は旅費計算担当の林までご相談ください。

注意事項

- ・ビジネスクラスの利用は避けてください。ビジネスクラスを利用された場合、領収証の金額から減額調整した金額のみお支払いさせていただくことになります。
- ・旅行依頼書、領収書は10月末までを目安に経理係へご提出ください。期日を過ぎますと、現金支給の手続きが間に合わなくなる可能性がありますのでご注意ください。

【旅費の計算に必要なものについて

（来日時に回収が必要な書類）

- ・航空券の領収書の原本
- ・インドネシアから鹿児島までの片道分の航空券の原本

【旅費の計算に必要なものについて

（帰国後に提出していただく書類）

- ・鹿児島からインドネシアまでの片道分の航空券の写し

※強制ではありません。可能であれば提出にご協力ください。予定していた日程・経路通りに移動された場合は、無理に提出していただく必要はありません。ただし、写しをご提出いただけないことが分かっている場合、帰国時に搭乗予定の航空便名を、来日時に確認させていただく可能性があります。

（外国旅行日記を作成するときに便名が必要となるため）

※万が一、予定通りに帰国されなかった場合は旅費計算担当の林へご相談ください。

——— 以上、打合せ内容 ———

平成24年度

第5回 歯系大学院生研究発表会
併催 第2回 歯学部同窓会奨励賞受賞発表



特別講演 インドネシア・エアラング大学 歯学部長 Coen Pramono 教授
議題 : 『エアラング大学における歯学研究』
東北大学大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野 根本 敏 教授
議題 : 『歯の形態形成メカニズムの解明と再生医療への応用』

日時：平成24年12月15日（土）
会場：鹿児島大学桜ヶ丘キャンパス 鶴岡会館大ホール
主催：鹿児島大学大学院歯学総合研究科 口腔先端科学教育研究センター

歯学部学生や研修医ひとりひとりに配付して参加を呼びかけた発表会案内



インドネシア・エアランガ大学の
Coen Pramono 歯学部長による特別講演



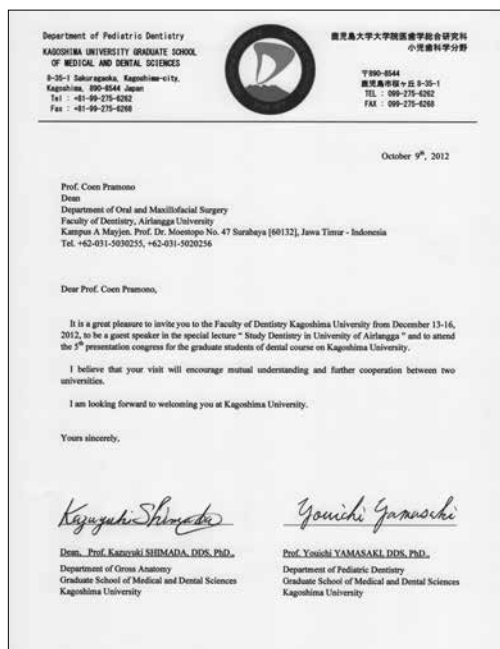
東北大学小児発達歯科学分野の福本教授による特別講演



島田歯学部長より Coen 歯学部長へ
国際交流の記念品授与



Coen 歯学部長への感謝状
(矯正歯科で準備されたものを一部改編)



エアランガ大学 Coen 歯学部長への招聘状